

keyword: 社会，変化，規範，構造，名詞，性，数

<http://www.lang.nagoya-u.ac.jp/~fujimura/feminin.html>

1 . 性 (genre) の歴史

インドヨーロッパ語

genre animé masculin

féminin

inanimé (= neutre)

animé/inanimé が消え，masculin/féminin が拡大 .

ロマンス語，ケルト語，バルト語，アルバニア語： 男・女

スラブ語（ロシア語，セルビア語，チェコ語，ポーランド語，）: animé/inanimé が残っている

ロシア語：男性単数形と男女の複数形で，有生か無生かによって対格の形が区別される .

ブルガリア語，マケドニア語： personnel / non-personnel

ブルガリア語：

男性名詞のみ、前に基数詞が来る場合、事物、動物と人間で、形式的に違いがある。

例 1 . ブルガリアの通貨単位 lev (単数形レフ)の場合

edin lev 1レフ

mnogo levobe たくさんのレヴオベ (普通の複数形 この場合 -obe)

基数詞 pet leva 5レヴァ (数形 -a)

kolko(how many), nyakolko(some), tolkoba(so many) leva

いくつのレヴァ？、いくらかのレヴァなども -a.

男性名詞が事物や動物の場合、男性名詞が 2 以上の基数詞、kolko(how many), nyakolko(some), tolkoba(so many)などととも用いられると、普通の複数形とは異なる特別な形、数形が用いられる . 数形は人の男性名詞には用いられず、人の場合は、普通の複数形が使われる。

例 2 . 息子

edin sin 一人の息子

mnogo sinobe たくさんの息子 (普通の数形 -obe)

pet sinobe 5人の息子 (普通の数形 -obe)

例 3 . 博士、医者

edin doktor 一人の博士

mnogo doktori たくさんの博士 (普通の数形 -i)

pet doktori 5人の博士 (普通の数形 -i)

例 4 . 馬 (動物なので、レフのように基数詞とともに数形が用いられる。)

edin kon 一頭の馬

mnogo kone たくさんの馬 (普通の数形 この場合 -e)

pet konya 5頭の馬 (数形 -ya)

以上のような複数形と数形の使い分けは、女性名詞、中性名詞にはない。

(4) デンマーク語

genre commun

masculin

(non-masculin)

féminin

(non-féminin)

genre neutre

(3) ドイツ語, ギリシャ語, アイスランド語

masculin

(non-masculin)

féminin

(non-féminin)

genre neutre

英語: 人称代名詞, 所有形容詞, he/she, his/her

なぜ英語は性がないのか?

宇賀治正朋(2000): 『英語史』、開拓社

<http://www.asahi-net.or.jp/~aw2t-itu/internethigh/oedecline.htm>

古英語

単数 Singular	男性 Masculine	中性 Neuter	女性 Feminine
主格、一格 Nominative, sg	se cyning he	þæt hus hit	seo talu heo
対格、四格 Accusative, sg	þone cyning hine	þæt hus hit	þa tale hi
与格、三格 Dative, sg	þæm cyning him	þæm huse him	þære tale hire
属格、二格 Genitive, sg	þæs cyninges his	þæs huses his	þære tale hire
複数 Plural			
主格、一格 Nominative, pl	þā cyningas hie	þa hus	þa tala
対格、四格 Accusative, pl	þā cyningas hie	þa hus	þa tala
与格、三格 Dative, pl	þæm cyningum him	þæm husum	þæm talum
属格、二格 Genitive, pl	þara cyninga hiera	þara husa	þara tala

中英語 (1100-1500): 性の消失

単数 Singular	男性 Masculine	中性 Neuter	女性 Feminine
主格、一格 Nominative, sg	the king he	the hous it, hit	the tale she, sche
対格、四格 Accusative, sg	the king hine	the hous it, hit	the tale hir, her, hire, here
与格、三格 Dative, sg	the king him	the hous it, hit	the tale hir, her, hire, here
属格、二格 Genitive, sg	the kinges his	the houses his	the tales hir, her, hire, here
複数 Plural			
主格、一格 Nominative, pl	the kinges they	the houses	the tales
対格、四格 Accusative, pl	the kinges hem	the houses	the tales
与格、三格 Dative, pl	the kinges hem	the houses	the tales
属格、二格 Genitive, pl	the kinges hir, her, hire	the houses	the tales

langues à classes (類別詞をもった言語) 日本語, 中国語, タイ語, アメリカインディアン語, アフリカの言語 : 1本、一枚、
 フィン・ウゴール: genre がない. 代名詞にもない. ハンガリー語、フィンランド語
 セム語:

性は何のためにあるか? (機能主義: 言語の機能はコミュニケーションである):

Martinet: コミュニケーションの中で何の役に立つのかという機能的な説明は成功しない。

Sapir: 性: たまたま生じたカテゴリー. forme は残る. 偶然に生じただけの話で意味には関係がない.

言語学者: forme vide, arbitraire, Illogique, sémantiquement immotivé, éventuellement génératrice d'invertissements symboliques ultérieurs mais non primitivement signifiante.

cathégorisation の問題・冗長性の問題・緊密性の問題?

2. フランス語における genre grammatical の歴史

<ラテン語>

男性・女性・中性

活用のタイプ: I: ほとんど女性 -a, II: ほとんど男性-us と中性-um, III: (一番多い) 男性, 女性, 中性 (不規則タイプ)

格	fillia 娘	verbum 言葉	murus 壁
単数	主格 filla 娘は	verbum	murus
	属格 fillae 娘の	verbi	muri
	与格 fillae 娘に	verbo	muro
	対格 fillam 娘を	verbum	murum
	奪格 filla 娘によって	verbo	muro
複数	主格 fillae 娘は	verba	muri
	属格 fillarum 娘の	verborum	muronum
	与格 fillis 娘に	verbis	muris
	対格 fillas 娘を	verba	muros
	奪格 fillis 娘によって	verbis	muris

冠詞はない. 形容詞は一致する. 形容詞には2種類の変化タイプ. bonus (I.II) 型と omnis(III) 型

<俗ラテン語>

名詞

déclinaison の消失: 男性名詞のみに2格体系がのこる

名詞の変化タイプの単純化: 男性・女性の二種類の変化タイプに分化

5種類 2種類。

不規則な第3、4、5変化がなくなる。

第5変化名詞(ほとんど女性名詞) 第1

第3、第4変化名詞においては、男性名詞 第2変化、女性名詞 第1変化

格形の単純化:

主格(呼格)と、対格(主格以外の格(被制格または斜格))の2格体系。

のちにすべてが対格形になる。

各ロマンス語の初期の文献において、男性名詞が2格体系であった古フランス語を例外として、名詞は単複それぞれ一つの形でしか現れない。

性の単純化:

男性は-us、女性は-a、中性は-umによって再編成。

後に、語尾子音のsやmが消えて、男性と中性の区別がつかなくなると、

一般の中性名詞 男性名詞、vinum > vinus, factum > factus, caelum > caelus

中性複数の集合名詞 女性単数 folium (sg), folia (pl), castrum (sg), castra (pl) 陣営

li murs	la fille
lo, le mur	la fille
li mur	les filles
les murs	les filles

形態と性

「男性」「女性」「中性」ラテン語、ドイツ語、ロシア語やポーランド語

ロマンス語、「中性」が消失、フランス語、スペイン語、ポルトガル語、イタリア語: 「男性」と「女性」、ルーマニア語: 3つ。

デンマーク語では近世になって名詞の「男性」と「女性」の区別が消滅、「両性」「中性」の2つ。オランダ語でも名詞の「男性」と「女性」が合流して「通性」と「中性」の2つ。

イタリア語やスペイン語、ポルトガル語: oで終わる名詞は基本的に男性名詞、aで終わる名詞は基本的に女性名詞。スラヴ系の言語も語尾より名詞の性がほぼわかる。

ドイツ語やフランス語:ある程度法則はある。


3 . フランス語の社会史的な歴史

842: Strasbourg の誓約

1066: 英国征服

1539: l'ordonnance de Villers-Cotterets: 裁判の判決や訴訟手続きをフランス語で行う。François Ier.

1634: アカデミーフランセズの誕生

 La mission confiée à l'Académie est claire : « La principale fonction de l'Académie sera de travailler, avec tout le soin et toute la diligence possibles, à donner des règles certaines à notre langue et à la rendre pure, éloquente et capable de traiter les arts et les sciences. » (Article 24 des statuts.)

1794: les Rapports Barère et Grégoire : 国語としてのフランス語

1919 :le traité de Versailles : 外交で用いられる言語としてのフランス語の力の最初の失墜。

1960 : Association des Francophones

1994 : la loi Toubon

4 . フランス語における職業名詞の女性化 カスティーリャ語との比較

1.

"Académicos contra señoras ministras. Las carteras ocupadas por mujeres trastornan el idioma en Francia" *El País* (1998/1/11) 「女性大臣に反対するアカデミー会員－女性大臣の就任がフランスにおいて言語を混乱させる」

Planelles (1995)

Rapport sur la féminisation des noms de métier, fonction, grade ou titre (職業、役割、地位、肩書の名称の女性化に関する報告書) : ドイツ語、イタリア語との比較はあってもカスティーリャ語との比較はなされていない。

指示対象の性 : 「男」「女」

文法上の性 : 「男性」「女性」

2. すずんだカスティーリャ語・おくれたフランス語

「純粋で正しいフランス語」を守ろうとする言語的保守主義 (アカデミーフランセーズ側*)

現実世界の要請に応じて言語を変えようとする革新主義 (大統領および社会党政府側)

Fleischman: 1997、Yaguello: 1998

*1635年 枢機卿 Richelieu(1585-1642)の要請によって、イタリアのルネッサンス期のアカデミアを範として設立された。préciosité (注意して上品に振る舞い、洗練された言葉を用いること)、サロン、社交と学問の混合物/G. Dumézil & Cl. Lévi-Strausse: "Déclaration faite par l'Académie française" (1984/6/14)

Georges Dumézil (1898-1986)

印欧語族の神話比較を主力に、その構造概念はレヴィ・ストロースなど後の神話学者に多大な影響を与えた。神話や伝説の登場人物が、主権・戦闘・豊穡の三つの機能に分類されるという三機能を提唱した。

Claude Lévi-Strausse

職業名詞の女性化の議論：カタルーニャ語、ドイツ語、イタリア語など

ヨーロッパ： Conseil d'Europe (1990), Recommendation No.R(90)4.

"La France est l'un des derniers pays où la féminisation des titres fait débat" 「フランスは肩書の女性化が論争になる最後の国のひとつである」 *Le Monde* (1998/7/7)

Yaguello (1978: 138) : la professeur(e) 「高校以上の教員、大学教授 [女性]」が公的に認められるようになるは 50 年かかるだろう

1994年にヨーロッパ議会 (Parliamentary Assembly) は、フランスのフランス語を名指しして、女性化を勧めるよう勧告を行っている (introduce in French the feminist form of titles and names of functions into current language, for instance by extending and implementing the French circular of 11 March 1986 on feminisation of names of professions, functions, grades or titles. (Recommendation 1229))

Que M. Fumaroli, (...) daigne s'intéresser à une langue néo-latine dotée de remarquables capacités d'adaptation tant morphologiques qu'orthographiques : l'espagnol. Là non plus, le genre neutre n'existe pas : et précisément parce qu'il n'existe pas, tous les titres sont féminisés, en conformité avec la grammaire et avec la logique : la decana (la doyenne de faculté), la diputada, la ministra, la presidenta, la senadora, etc. (スペイン語にも中性は存在しない。そうだからこそ、スペイン語では..全ての肩書は女性化され、文法と論理に整合している。la decana(学長)、la diputada 「代議士」、la ministra 「大臣」、la presidenta 「長」、la senadora 「上院議員」など。) *Le Monde* (1998 / 8 /10)

女性化：「政策的および自然発生的な、職業名詞の女性名詞化ないしは女性形化」と定義する。

3. フランス語とカスティリーヤ語の文法上の性の特徴

統語論的観点・形態論的観点・意味の観点

統語論的観点

名詞は男性か女性かどちらかのグループに属し、グループに共通した統語的な振舞いをする。すなわち。当該の名詞を修飾する冠詞・形容詞、またはそれを受ける代名詞の性の一致の問題である。つまり、テキスト内の「指示」の一貫性にかかわり、テキストの「結束性」(ハリデー,ハサン:1976)をたかめるために重要な役割を果たす。

形態論的な観点

名詞の語形の問題。人間を示す名詞の場合には、「男性」と「女性」で語尾の形態を変えることが多いが、男女同形の名詞も存在する。

カスティーリャ語では、「男性」と「女性」の語尾は、-o/-a の対立となることが多い。

la decana 、 la diputada 、 la ministra 、 la presidenta 、 la senadora

el decano 、 el diputado 、 el ministro 、 el presidente 、 el senador

フランス語では、語形ははなはだ複雑であるが、カスティーリャ語に比べて、男女同音の名詞の割合が高い。: 男女同形: 29%、発音上は同音だが正書法上は異なる: 6%、発音上、男性形の最後に子音が1つ加わるもの: 27.4%、男女の接尾辞が異なるものが 27.6% Khaznadar(2000)

Houdebine-Gravaud(1998)

性と数: フランス語の数は柔軟性がある。英語のように加算名詞と不加算名詞がきまっているわけではない。

無生名詞

人間を表す名詞

例外: la personne/persona (人)⁵、la victime/victima (犠牲者)

droits de la personne

このグループには、さまざまなタイプのものが存在するが、全体としては少数派にすぎず、フランス語においてさえ、人間を表す名詞の 90 %以上は、指示対象と文法上の性は一致する。

無生物名詞の性の意味:

フランス語:

自動車 (une voiture[女性]・une auto[女性])

エッフェル塔(la Tour Eiffel[女性]): 「パリの老婦人 (la vieille dame de Paris)」

凱旋門 (l'Arc du Triomphe[男性])

La vieille dame de Quai Conti

カスティーリャ語:

mierda

1) Eres un mierda. (Adolfo Aristrain 監督映画 Martin [hache] (Tornasol films: 1997)) (このくそやろう[男性])

2) Ese tío es un mierda. (Gutiérrez Cuadrado[SALAMANCA]: 1996: 1029)(そいつはくそおやじだ[男性])

カスティーリャ語では、指示対象の性が名詞の性に影響を与えて、文法上の性を変えることがある。フランス語では逆で、文法上の性の力が強く、指示対象は文法上の性にあわせた「性」をもつことになる。

cf. Konishi, Toshi (1993): The Semantics of Grammatical Gender: Cross-Cultural Study, Journal of Pshcholinguiistic Research, Vol22, No5, pp519-534

スペイン語とドイツ語の文法上の性:potency に関する semantic differential scales は connotation の差がある。

ドイツ語: klein-gross, leicht-schwer (軽 重), zart-kraftvoll (柔 - 剛), schwach-stark (弱 強)

スペイン語: débil-fuerte (弱 強), chico-grande, enano-gigante (小 - 大), menor-mayor (小 大)

evaluation と activity については有意差なし。

4. 職業名詞の女性化が必要な理由

4.1. 性差別としての文法上の性

職業はその時代の性認識と強く結びついていること。

女の職業、男の職業という区別が明確にあった時代には、それを表わす名詞はそれぞれ女性名詞・男性名詞という文法上の分類と一致していた。しかし、性役割の境界が曖昧になるにつれ、文法上の分類と一致しなくなる。

「新しい女」には男性形名詞

「女の不可視性」 「言語における女の隠蔽」

「男性」の総称的・包括的使用(García Meseguer, 1988)。

「女を十全に適切に表象する言語をつくりだすことが、女を政治的に可視化するのに必要だと思われ」バトラー(1990: 19): 職業名詞の女性化が訴えられる。

以上、職業名詞の女性化が浮上するところまでは、両言語は共通した問題を抱えている。

別の視点: 女の職業に進出した男の表し方

フランス語: couturier・couturière 「お針子」 couturier は「ファッションデザイナー」

カスティーリャ語: modisto/modista 「婦人服仕立て屋」

男性形 modisto 「男のファッションデザイナー」

「sage-femme」産婆の職につく「男」が 80 年代に出現: アカデミー・フランセーズはただちに maïeuticien という立派な男性名詞を作ったが、まったく使われなかった。

cf. ギリシャ語の maieutikè: 子供を産ませる技術。 sage-homme sage-femme homme (男産婆)

4.2 コミュニケーションの道具としての性

4.2.1 文法上の性と指示対象の性の一致

カスティーリャ語では、「女」に「女性名詞」

20 世紀前半、男の領域に進出した女たち；la abogado (弁護士)、la catedrático (教授) のように「女性形冠詞 + 男性形名詞」で表現(Campo Alange: 1964: 229) 7。

*現在：la abogada、a catedrática、la diputada、la primera ministra (当時は「女」の強調を避けていた)

3) ...cuando el tribunal de Londonderry condenó a su cliente, la diputado por la circunscripción de Mid-Ulster...

(MUNDO, 1970/1/10) (Mid-Ulster 選出の代議士[女性 + 男性形] である、依頼人を Londonderry 裁判所が有罪判決を下した際、)

4) La actual primer ministro, Indira Gandhi, es también jefe del partido, como sucede en Inglaterra. (*Blanco y Negro*, 1970/4/4) (現首相[女性 + 男性形] インディラ・ガンジーは、イギリスと同様、党首[男性形]でもある。)

5) Entre las dos posturas existe la realista que podría encarnar la abogado María Antonio Lozano...(*Blanco y Negro*, 1972/3/4) (弁護士[女性 + 男性形] マリア・アントニオ・ロレンソが演じる現実主義者は、その二つの立場の間に存在している)

フランス：1985 年「プリウール大尉事件」

男性名詞の le capitaine が「妊娠した(enteinte[女性])」

当時のシラク首相による「プリウール大尉事件」に関するコミュニケ：

6) La capitana está actualmente encinta y el acuerdo preveía que en estas circunstancias ella podía ser repatriada a París. (プリウール大尉は現在妊娠中であり、この状況では協定でパリへの帰還が許される見込みである。)

7) Le capitaine Prieur est actuellement enceinte et l'accord prévoyait que dans ces circonstances, elle pouvait être rapatriée à Paris. (le capitaine 以外は、すべて「女性」)

冠詞を変えるのは強い抵抗。形容詞を指示対象の性に一致させて、女性形にするのは簡単である。

8) Mon professeur est gentille. (私の先生[男性] は親切だ[女性] (口頭で))

9) ...mais le premier ministre n'est pas vraiment inquiète...(FR3, 1991) (首相[男性] は、それほど心配していない[女性] ...) (Khaznadar:1993 より)

4.2.2 照応の問題

文法上の性の機能：テキストの一貫性を保証

冠詞や形容詞や過去分詞の一致は、情報という観点からすると余剰な付け足しにすぎない場合も多いが、どの名詞を修飾しているのかを明示して曖昧さを取り除く働きをする場合もある。

照応：テキストの一貫性にとってもっとも重要な役割。

カスティーリャ語では、代名詞のないゼロ照応がよく行われるが、フランス語は代名詞の使用は義務的。人称代名詞の使用のルールが破綻するとテキスト内世界の独立性が失われ、外界の情報の助けを借りなければ、テキストを理解することができない状況におちいる。ところが、フランス語において、指示対象の性に一致することがもっとも容易なのは、照応表現である。

フランス語・1977年2月9日の条例：

10) Le français nous est enseigné par une dame. Nous aimons beaucoup ce professeur. Mais il (elle) va nous quitter. (フランス語は女の人[女性]に教えてもらっている。私たちはこの先生[男性]が大好きだ。しかし、彼[彼女]はもうすぐいなくなる、)

11) El francés nos es enseñado por una dama. Amamos mucho a esta profesora. Pero (ella) nos va a dejar.

12) Quand vers minuit, samedi 27 novembre. Helen Clark, a enfin ouvert sa porte aux caméras de télévision qui attendaient depuis des heures sous une pluie diluvienne, le futur premier ministre s'est excusé d'avoir mis si longtemps à reconnaître la victoire du Parti travailliste aux élections générales, en expliquant qu'elle était <<quelqu'un de très prudent>>. (Le Monde 30/11/1999)

(11月27日(土)の真夜中ごろ、ヘレン・クラークは、大雨の中何時間も待っていたテレビカメラに対して、やっと扉を開いた。次の首相[男性]は労働党の勝利を確認するのに長時間かかったことを謝り[男性]、彼女はとても慎重な人間なのだと説明した。)

13) Malheureusement, le HCR est toujours utile. Et son patron actuel, Sadako Ogata, estime que le cinquantième anniversaire «n'est pas une occasion de réjouissance». Après une décennie à la tête du HCR, la Japonaise s'apprête à passer... (Le Figaro 16/12/2000) (不幸なことに、HCRはいつも必要だ。現在の所長[男性]の緒方貞子は、50周年記念日は「喜びの日ではない」と思っている。10年間HCRの長の職にあったのち、その日本人[女性]は)

人称代名詞はほぼ例外なく、指示対象の性に一致して用いられる。Boel (1976) や Khaznadar (1993)。

14) Mort du poète italien Margherita Guidaci. Le poète italien Margherita guidacchi est mort. (Le Monde, 92) (イタリア人[男性]の詩人[男性] M. G.の死。イタリア人[男性]の詩人[男性] M. G. が亡くなった。)

15) Le premier ministre a dit...il a parlé de ... si l'on peut le croire... (首相[男性]は言った... 彼[男性]は話した... 彼[男性]を信じるとすれば)

、フランス語の性の機能と特徴；「名詞には性がある」という意識の強さと、しかし、性別は指示対象を知る上で欠かせない情報であり、指示対象の性がわからないと落ち着かない。ところで、一般にフランス語は明晰な言語であるといわれるが、この文法上の性の不一致とフランス語の明晰性との整合性はどうか説明されるのだろうかという疑問を抱かずにはいられない。

5. 女性化の進められ方

5.1 フランス語の場合

1932-35 年のアカデミー・フランセーズの辞書には、その前の 1878 年の版にはなかった *auditrice*、*avocate*、*pharmacienne chimiste*、*linguiste* など

言語政策としての女性化は、カナダのケベック州、ベルギー、スイスでは一足早くすすめられている。

フランス：

1997 年 12 月：ジョスパン首相および、シラク大統領は、公的文書において *la ministre*、*la directrice*、*l'inspectrice* などと役職名を女性化して使用することに決める。ところが、「個人」を強く示唆する語を使うことと、文書の永続性のあいだに法的な問題が生じるおそれがあるという異議が法務官僚から提出される。

1998 年 3 月：ジョスパン首相は大臣に対して通達を出した。用語・新語審議会(*commission générale de terminologie et de néologie*) にこの問題についての報告書の作成を要請したこと、INaLF (国立フランス語研究所) が、女性形名詞の作成マニュアルを作るようになったことを伝え、また、*la secrétaire générale*、*la directrice*、*la conseillère* など、すでに日常で用いられている語については、報告書の完成をまたずに、公文書で用いるように指示する。

1998 年 10 月：用語・新語審議会が報告書を出す。報告の内容は、公文書では女性名詞は用いず、男性名詞を用いるのがよいということである。アカデミー・フランセーズの Maurice Druon 氏。

1999 年：INaLF が、*Femme, j'écris ton nom* 「女よ、あなたの名前を書こう」を発行。職業名詞女性化のガイドブックができた。

2000 年 3 月：文部省は中央官庁の局長宛に、公的職務にある「女」に対しては名詞を女性化して用いるよう指示 (B.O.E. N: 2000/3/9)。すでにその宛名人には女性化した役職名が並んでいる。

2000 年 4 月：レジオンドヌール勲章受勲者名簿(JO.no97, 2000/4/23) には、*professeure* (大学教授)、*procureuse* (検事)、*recteure* (大学区長) などの肩書きがほぼ 100%、女性化して書かれている。例外としては *conseiller maître à la Cour des comptes* 「会計検査院の…」がある。アカデミー・フランセーズ(Le monde: 2000/5:/31)

今回の女性化論争の 14 年前の 84 年 5 月、イベット・ルーディ (女性権利大臣): *Commission de Terminologie relative au vocabulaire concernant les activités des femmes* マスメディアにも受け入れられない。今回：*la ministre* は、98 年に突如としてあらわれ、一種の流行語のようになって女性化を牽引している。*maire*(市長) や *préfet*(知事) *médecin* (医師) *professeur*, *juge*, *député* etc

5.2 カスティーリャ語の場合

「女性形冠詞 + 男性形名詞」、スペイン王立アカデミー会員や文法家は、男性名詞に女性形冠詞という組み合わせは許されないという非難：「女」には la abogada のように女性形で言及するというカスティーリャ語の性質を尊重すべき。

その後、この女性形化は、非性差別的言語使用を追求していくための政策として、80年代後半から90年代にかけ、社会・教育問題に携わる政府機関や Instituto de la mujer 「女性局」により勧められる。

16) ...es que yo no era solamente diputado, ... (MUNDO, 1970/1/10) (というのは、私は代議士[男性形] というだけではなくて)

17) Una mujer vieja y enferma, jefe del Gobierno israel... (MUNDO, 1972/6/17) (イスラエル政府の最高位[男性形]、一人の年老いた病気の女性)

このような使用に対しは、それぞれ女性形 diputada、jefa が勧められ、より強く「女」の顕示が求められた。その後これらの女性形名詞は定着していく。ここまで一貫して女性形化をすすめてきた背景には、「女」を表わす女性形に帯びる否定的意味合いを払拭する目的があったと思われる⁸。非性差別的言語使用。

女性化が定着したカスティーリャ語においても、現在もなお辞書に男性名詞として登録されている職業名詞がある。これらは、女性形冠詞とともに使われるのが一般的である。たとえば、canciller (政府高官)、soldado (兵士) は、確認したすべての辞書で男性名詞として登録されているが、実際には、以下のように男女同形の名詞として使用されることが多い。

18) La canceller gritó a Yutaka Kawashima en plena conferencia de prensa. (International Press semanario en español, 2001/5/19) (政府高官[女性] は記者会見の最中に川島豊に怒鳴った。)

19) La soldado española Patricia Cipritia, del cuerpo de paracaidistas, contempla las zonas inundadas en un vuelo de reconocimiento en helicóptero. (LA VANGUARDIA, 2000/3//8) (パラシュート部隊のスペイン人兵士[女性] パトリシア・シプリティアは、ヘリコプターでの偵察飛行において浸水した地域を眺める。)

スペイン王立アカデミーによる辞書 22 版では、言語と性差別研究の専門家に依頼し、登録語彙とその定義のチェック機関を設けている (Itoigawa: 2000)。

5.3 両言語の比較

統語的一致が問題なくすすむかどうかは両言語間の大きな相違点である。

フランス語：

文法上の性の機能の崩壊

アカデミー・フランセーズ：規範を重んじるアカデミーとそれを支持し「言語保守主義に傾倒し、社会的エリートの言語使用を尊重する長い伝統による」 Pastre (1997: 371)「フランス人は言語の規範を重んじる」(Yaguello: 1998: 136)。ある言語変化に政府が条例を出すなどして、「変化を認める」(新たな規範を作っていく)ことで、規範から逸脱しない「正統なフランス語」、「正しいフランス語」を要求する点は、スペインのカスティーリャ語とは大きく異なる。

カスティーリャ語：

日常的な使用の中から生まれた「女性冠詞+男性形」形態的一致

アカデミーの主張がきっかけであったが、その後、非性差別言語使用という目的で勧められていく。

語形の問題：カスティーリャ語の男性形・女性形の対立が単純であるという点も見逃せない。男性形語尾を -a にするかまたは、語尾に -a を加えるだけで女性形をつくることができ、これは、男性形語尾と女性形語尾が非常に複雑なフランス語との大きな違いである。

6. 女性化の成果と展望

両言語において：

男女の性の違いによって人の表され方に歴然とした非対称性が存在 女性化 「女」を可視的なものにする言語。

カスティーリャ語：辞書において語の例示のために女性形が使われ始めている。

21) *ingeniera química* (SALAMANCA) (化学技師[女性])

22) Mi *médica* recetó unas pastillas y me recomendó reposo"(Maldonado Gonzalez: 1996 [CLAVE]) (私の医師[女性] は、錠剤を処方してくれ、私に安静にしているようすすめた)

23) Denunció malos tratos ante *la juez* de instrucción" (CLAVE). (予審判事[女性] _の前で虐待を訴えた)

24) Très populaire dans les sondages qui la désignent comme un premier ministre idéal, mais supportrice déclarée de M. Koizumi pendant la campagne électorale, Mme Tanaka prend la tête du ministère des affaires étrangères. Agée de cinquante-sept ans, députée depuis huit ans, la fille unique de l'ancien premier ministre Kakuei Tanaka,....(*Le Monde*, 2001/4/27) (世論調査では、理想的な首相[男性] として大変人気がある[女性] のだが、選挙期間中は小泉氏の支持者[女性] であった、田中氏[女性] は外務省のトップの地位について、.57 オ[女性]、8 年前から国会議員[女性] である、田中角栄元首相の長女は) primera ministra (カスティーリャ語)

5 . これからのフランス語

EUにおけるフランス語の地位

図

第1層：デンマーク語，オランダ語，フランス語，ドイツ語，ギリシア語，イタリア語，ポルトガル語，
スペイン語(カスティーリャ語)，ノルウェー語，スウェーデン語，

第2層：バスク語，ブルトン語，カタロニア語，アイルランド語，ルクセンブルク語，ロマンス語，ウェ
ールズ語

第3層：コルシカ語，フェロー語，フリジア語，ゲーリック語，ガリシア語，ラディン語，ロマーニー語，

1993: La langue de la République est le français 憲法に加えられた

1994: Le loi Toubon

参考文献

Hagège, Claude (1996) : *Le français - Histoire d'un combat*, livre de poche

Houdebine-Gravaud, Anne-Marie (1998): *La féminisation des noms de métiers. En français et dans d'autres langues.*,
L'Harmattan, Paris.

INaLF (1999): *Femme, j'écris ton nom.*, La documentation Française, Paris.

Rousseau, Jean (1998) : *Madame la Ministre : La féminisation des noms en 10 questions*, CIEP (Centre International
d' Etudes Pédagogiques), <http://www.ciep.fr/chroniq/femi.htm>

Yaguello, Marina (1978) *Les mots et les femmes*, Payot

(1998): *Petits faits de langue*, SEUIL, Paris.

藤田知子 (1990): 「言語と性差 フランス語の『性』 (genre) について」『異文化コミュニケーション研
究』第3号、神田外語大学異文化コミュニケーション研究所、p.1-21

高橋秀彰 (2000): 「社会言語学 (1): 欧州の言語計画」『海外言語学情報』第10号, , p213-222, 大修館